

ただちに元の業務に戻せ！ 「日勤」に対して抗議！！

2010年1月29日、新横浜～小田原間において発生した停電事故について会社は2月1日以降原因について発表し、職場では連日点呼で伝えています。そして作業を担当した当該社員3名に対して「日勤」勤務を強いています。3名の面着札は修繕班日勤（本体）とは別の「日勤」という枠に掛けられています。JR西日本の悪名高き「日勤教育」を彷彿させるまさに懲罰的な「日勤」といえます。

このような会社の理不尽な対応に対してJR東海労新幹線地本は2月12日に「ただちに元の業務に戻すこと」「このような待遇は問題である。抗議する」ということを伝えました。

その時管理者が立ち会っていた！？ 今回の事故から何を教訓とするのか？！

ところで、当日の舟体取替作業の場には管理者が一名立ち会っていたとのこと。しかし、この管理者について、会社は一切触れていないのは何故でしょうか？ 管理責任はどのようなのでしょうか？「当事者だけの問題ではなく管理体制の問題でもある・・・。」と交検車両所長が語ったように、今回の事故から全社的に何を教訓とするのかが問題なのです。

もしも、当該社員のみ責任を押し付けて「処分」というのであれば、JR東海の将来に禍根を残すことになるでしょう。そのようなことは絶対に許されないことなのです！！

安全を守るために風通しのよい明るい職場をつくらう！！